

みんなが主役 クラブ活動日誌

File #7

明花塾

明花塾では、「練習は嘘をつかない」をモットーに、男女30人が空手の組手競技に日々励んでいます。組手は、相手と戦い、突きや蹴り、投げといった技を使いポイントを取り合う競技。生徒の中には、全国や関東の大きな大会で活躍する選手も在籍し、卒業生ではインターハイへの出場や、大学で活躍する選手もいます。

練習は、子どもと保護者の目標に合わせて行います。生徒は「いろんな技を繰り出せ、面白い」「タイミングや間合いなど読む力も大切」と、組手の魅力を話します。宇井塾長は「子どもたちには、思いやりの心を持ち、努力すること、頑張ることのでられる達成感や成功体験から自分を信じる力、壁を乗り越える強さを身につけてほしいです。空手だけでなく、勉強やほかのスポーツでもその力を発揮してくれたら」



▲上段裏まわし蹴り！

と、生徒の将来を見据えています。現役で活躍する林コーチも生徒を見守り、指導します。

興味がある方はぜひ練習にお越しください。



▲ぜひ練習に来てください！

活動メモ

対象者／年中～中学生まで

活動日／毎週火、木、金、土

活動場所／
神代小学校体育館（火、木、金）
東庄中学校武道場（土）

問い合わせ／直接活動場所へ

旬の風

町民体育大会の取材に行きました。外はあいにくの雨模様でしたが、どの種目も真剣に試合が行われていました。中でも、町民体育館で行われていた空手は、小学生のころに習っていたこともあり、東空会の選手が披露した形や組手の試合を見て、とても懐かしく感じました。

空手の競技について少し紹介すると、空手は大きく分けて「形」と「組手」があります。形は、仮定の敵に対する攻撃技と防御技を一連の流れとして組み合わされた演武で、組手は、相手の決められた部位に対して、良い姿勢で威力のある攻撃を行い、適切にコントロールされた技がポイントとなる競技です。東京オリンピックでも実施される空手に興味を持った方は、一度体験してみることをおすすめします。



▲町民体育大会空手の部「組手」の様子

広報東庄

人が輝き地域が光るまち・とうのしょう

Tonosho Town Public Relations



2019 **8**
No.640

戦後74年 平和の誓い



PHOTO/平和の塔

ふれあい公園には、戦争の悲慘さ、むなしさを忘れず、永遠の平和を願う平和の塔が建てられています。(関連2ページ)

主な内容

- 戦後74年あの空を忘れない—— ②
- タウントピックス—— ⑬
- くらしのカレンダー—— ⑯